

学園

## 地方競馬益金事業

題字 理事長 長野 士郎

平成8年3月1日発行

財団法人

中国四国酪農大学校

電話 (0867)66-3651

FAX (0867)66-3652

だより



# 酪大のカリヨンに夢のせて

財団法人中国四国酪農大学校

校長 古好秀男

誰れとなくカメ虫の大発生した年は、雪がよく降るとは聞いていたが、

心から厚くお礼を申し上げます。

例年になく今年の冬は雪が多く、あたりを一望すると白一色の雄峰大山と蒜山三座は、墨絵のなかから抜け出した様に、雄

心から厚くお礼を申し上げます。

ご承知のとおり、昨年は三十四年振りの同窓会の結成、ジャージー導入四十周年、酪大開校三十周年、本館の竣工式、オランカパリンがTAFE学

院との姉妹縁組など酪農

大学校にとりましては歴史的な記念式典が格も盛大に挙行され、無事終了することが出来ました。

さて、財団法人中国四国酪農大学校の事業推進につきましては、国、県、関係者の皆様にここに改構成県を始め川上村、地方競馬全国協会並びに關係団体の皆様方には平素から格別のご厚配を賜り

な夢を与えるものと期待をしております。

又経済面から、最大の課題であります輸入の自由化も、平成七年四月から始まつたばかりで、平成十二年までには、三十八・五%の関税率の削減が予想される今日、酪農

から、今後どの様な流通が予測もつきませんが、畜産物の流通が安定するまでには、相当な歳月と糾余曲折があるものと思われます。

花を咲かせているのです。

酪農経営も決して例外ではありません。世間一般に云う一人前になるには、それなりの熟練が必要で実践教育に勝る教育はないと思っています。決して、情報化社会に振り廻わされることなく、不屈の精神と英知と工夫を持つて、粘り強く自分の目的に向かつて前進しようとではありませんか。

カリヨンの美しい音色

かつて名人と云われた人達は勿論のこと、現代においても、例えはプロ野球の野茂選手、イチロー選手を始め、どんな職種にいる人でもその頂点に立つ人達は、ひと知れない長い間の血の滲むような練習の成果が大き

くお願い申し上げます。

今回、新しく整備した施設を紹介しますと、パソコン二十一台が並ぶ情報処理室、百インチビデオプロジェクターを備えた視聴覚室、牛乳・食肉の加工実習室、受精卵移植技術を学ぶハイテク実習室など、酪農後継者を目指す学生にとつて大きな大会等で大輪となつて

待をしております。

実践教育に勝る教育はないと思っています。決して、情報化社会に振り廻わされることなく、不屈の精神と英知と工夫を持つて、粘り強く自分の目的に向かつて前進しようとではありませんか。

カリヨンの美しい音色

かつて名人と云われた人達は勿論のこと、現代においても、例えはプロ野球の野茂選手、イチロー選手を始め、どんな職種にいる人でもその頂点に立つ人達は、ひと知れない長い間の血の滲むような練習の成果が大き

くお願い申し上げます。

これから、さらなる発展を目指している酪農大学校に、関係者の皆様方の限りないご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

カリヨンの美しい音色

かつて名人と云われた人達は勿論のこと、現代においても、例えはプロ野球の野茂選手、イチロー選手を始め、どんな職種にいる人でもその頂点に立つ人達は、ひと知れない長い間の血の滲

# 教務課だより

## 新装になつた本館の概要

財団法人中国四国酪農

次のとおりである。

大学校が設立されて三十

一、構造及び規模

周年を迎えた本年度、岡

鉄筋コンクリート・  
一部鉄骨造

山県、地方競馬全国協会

及び酪農ヘルパー全国協

一、一三〇・七三<sup>2</sup>m  
m

会の助成を得て、情報処

二、総事業費  
四六二、六八一千円

理室、ハイテク実習室、

三、財源内訳

乳肉加工実習室等新しく

地方競馬全国協会補

近代的な設備を備えた、

助金

中国四国酪農大学校のシ

一三一、九八二千円

ンボルとなる本館を整備

酪農ヘルパー全国協

し、去る平成七年十一月

二二一、六六六千円

十日に財団法人設立三十

会補助金

周年と併せて竣工記念式

岡山県補助金

典を行つた。

牧歌的な景観との調和

四、本館施設の概要

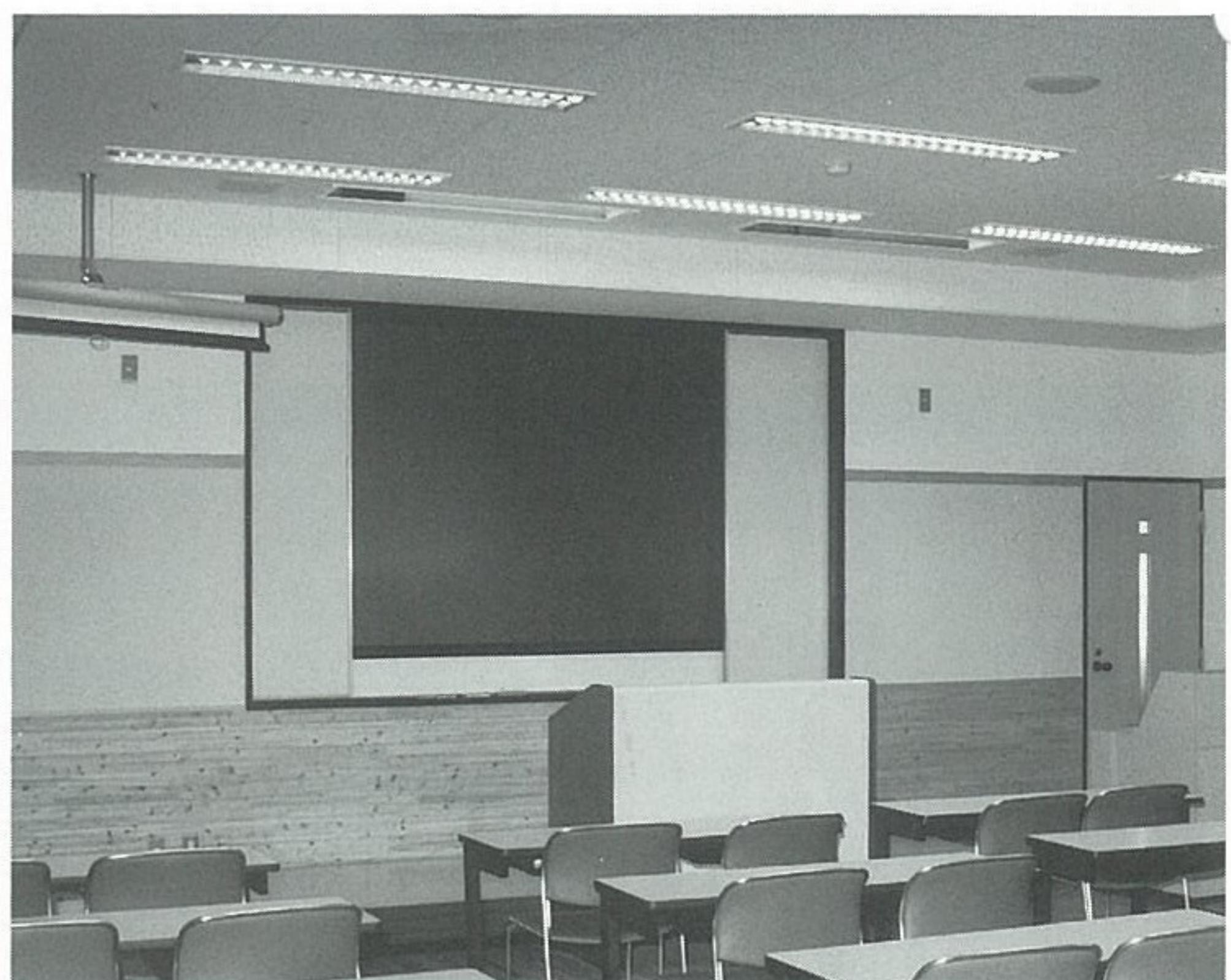
三〇八、〇三三千円

を考慮した欧風イメージ

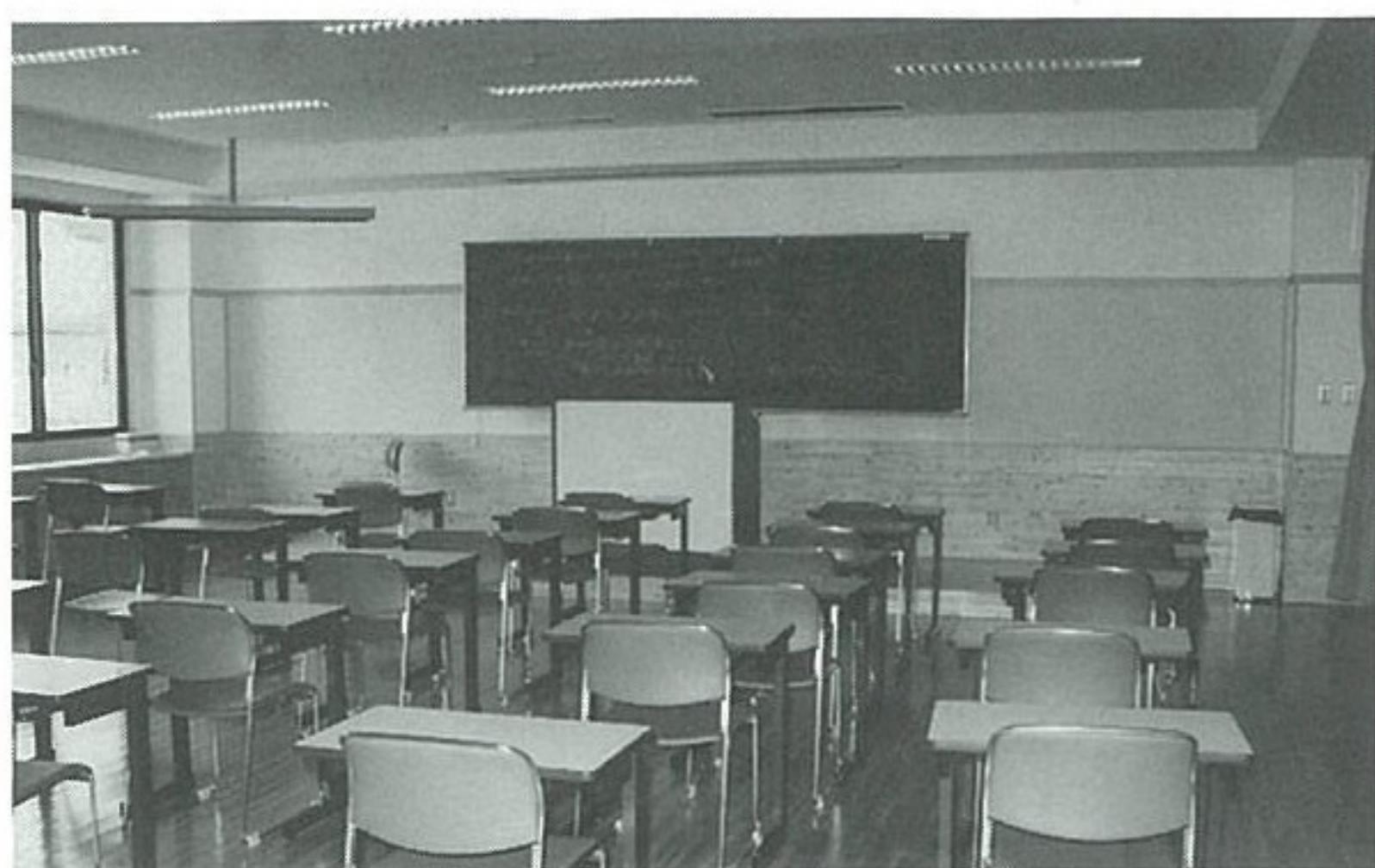
を漂わせる本館の概要は



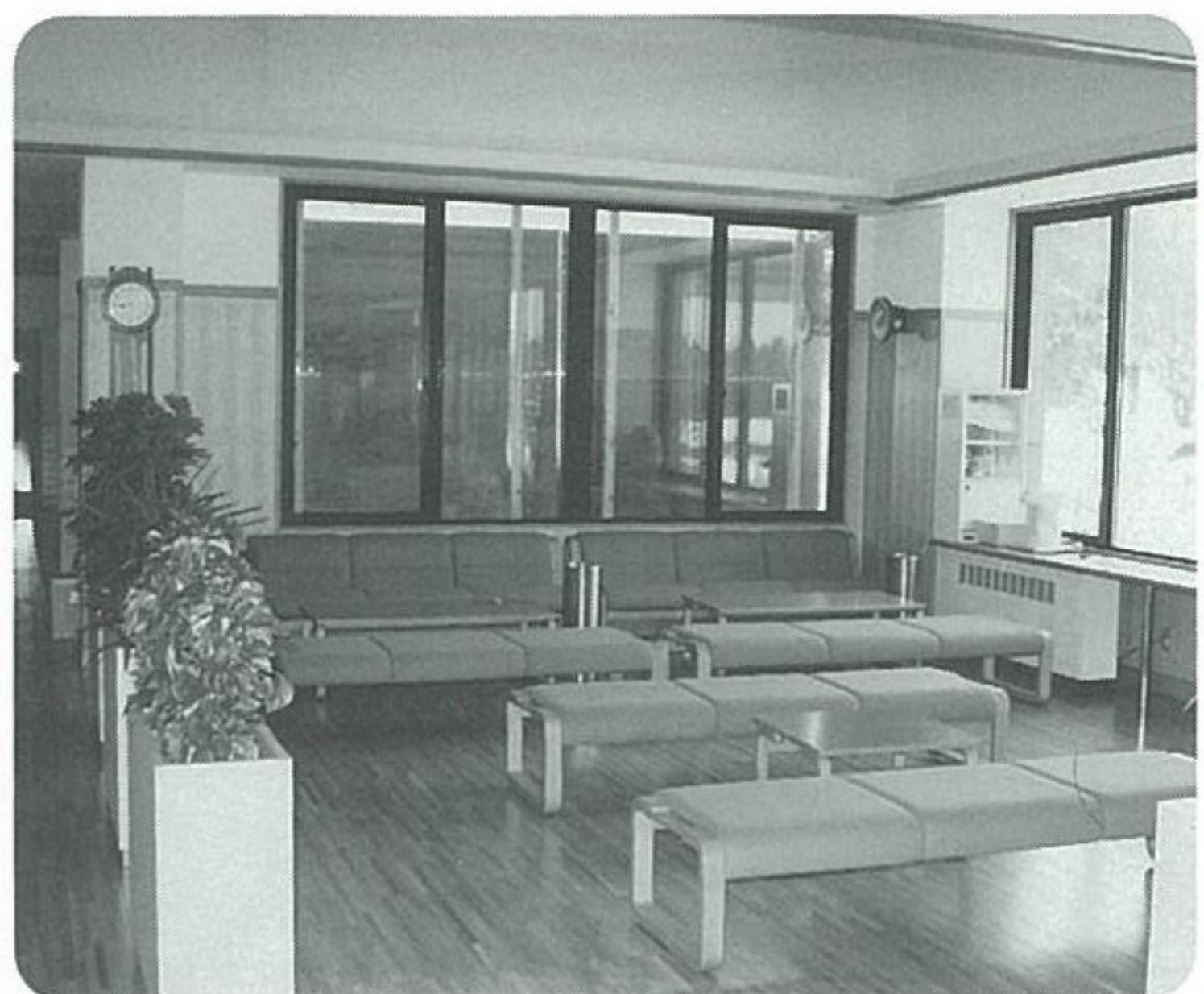
本館とともに新しくなった校門



大型ビデオプロジェクターを備えたAVルーム

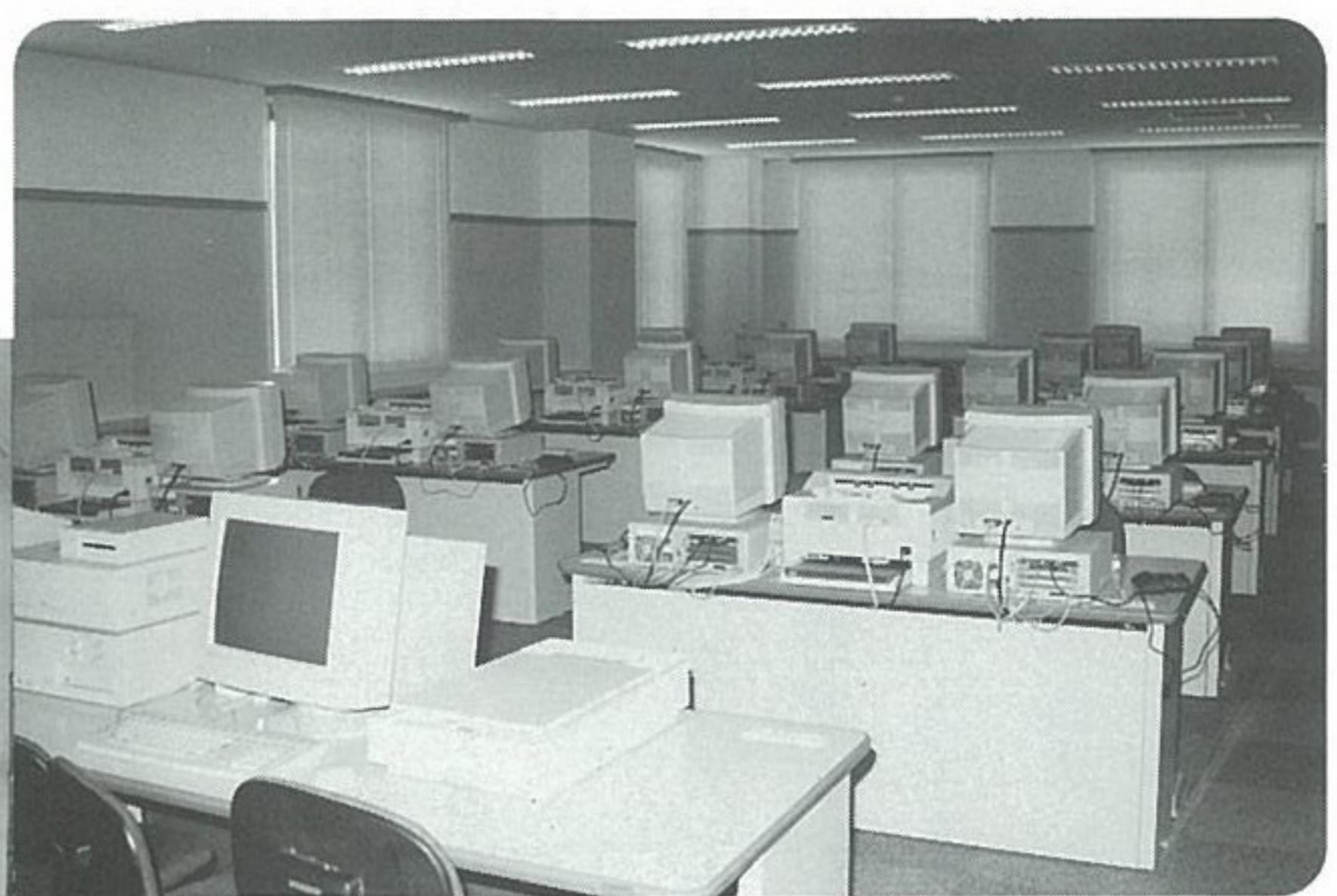
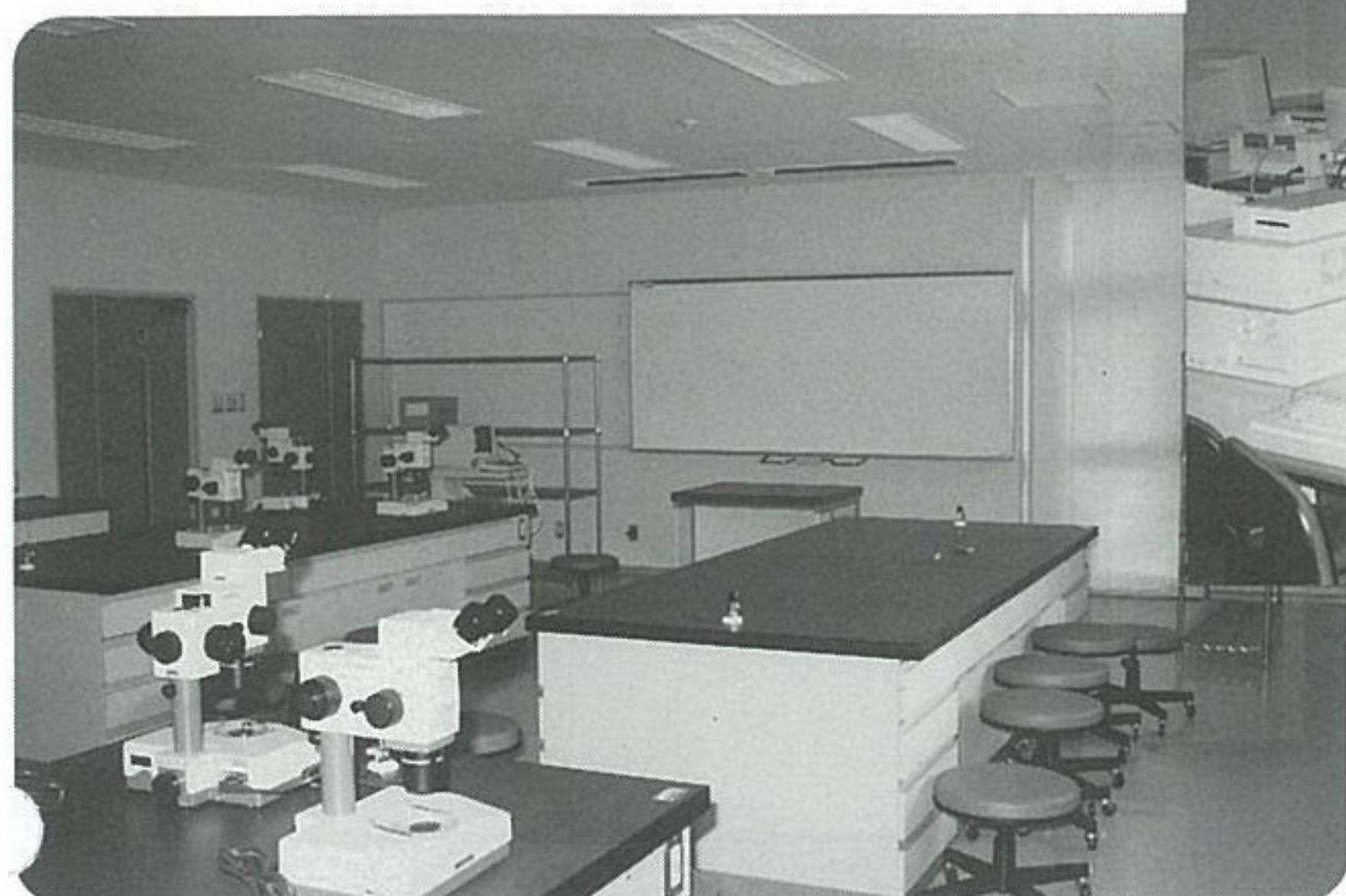


毎日の講義に使用する教室



学生ホール

▼受精卵移植実習等を行うハイテク実習室



21台のパソコンが並ぶ情報処理室



図書室

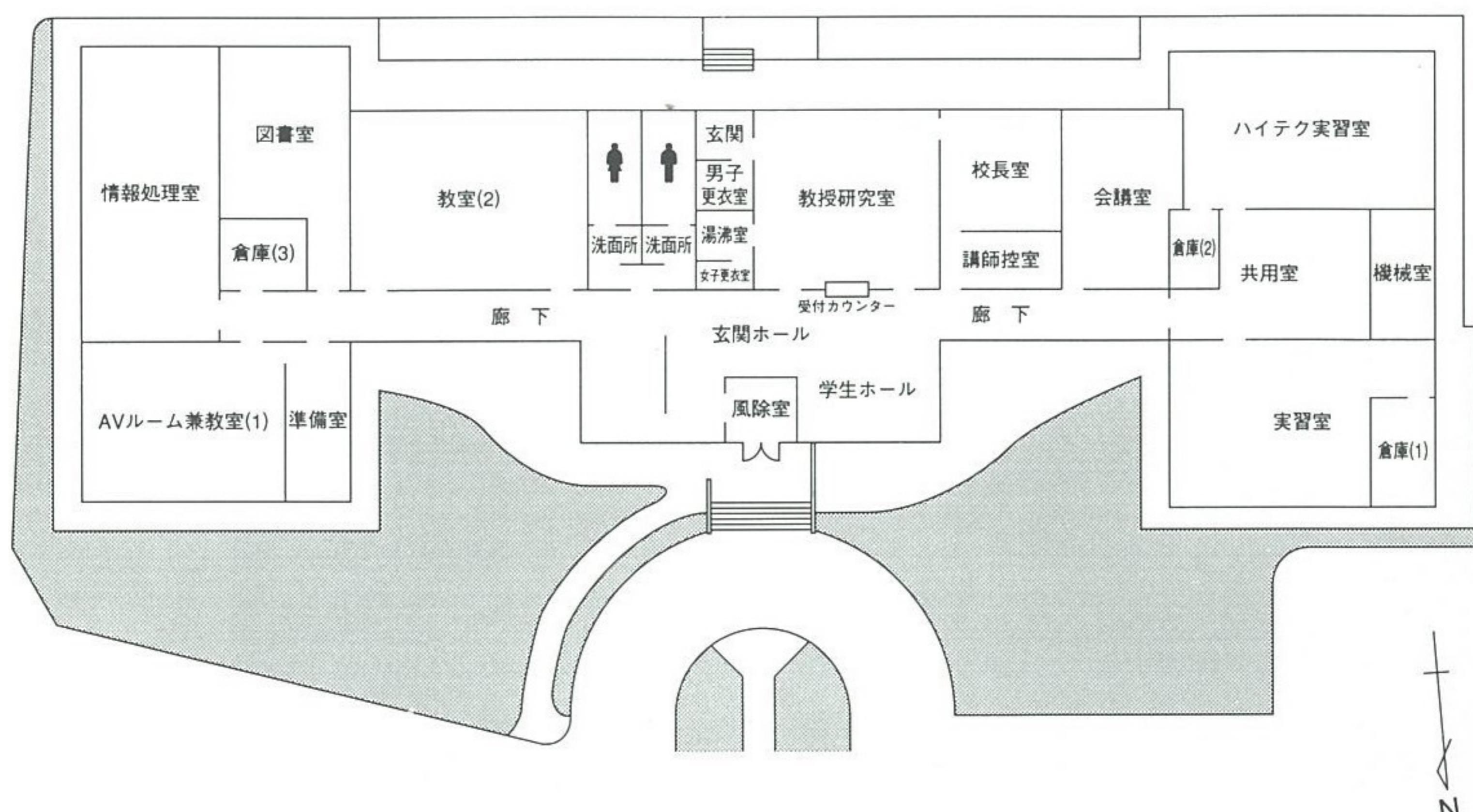


学生指導室を兼ねた会議室

## 本館施設の概要

施設名	面積	施設の概要
AVルーム兼教室	104.0m <sup>2</sup>	大型ビデオプロジェクターを備えた視聴覚教室(40人収容)
情報処理室	94.25	パソコン21台による情報処理実習教室(40人収容)
図書館	61.55	図書の閲覧、ビデオによる学習
教室	102.6	一般教室(40人収容)
便所	51.3	男子用6(和式5、洋式1) 女子用3(和式1、洋式2)
学生ホール	32.75	学生の談話、休憩ホール
教授研究室 (事務所)	102.6	職員更衣室等を含む事務所
校長室	31.35	来客応接を兼ねた校長室
講師控室	19.95	校外講師の控室
会議室	51.3	20人収容の会議室
ハイテク実習室	104.0	受精卵移植等のハイテク技術実習室(40人収容)
加工実習室	84.5	牛乳及び食肉の加工実習室
共用室	53.38	ハイテク及び乳肉加工実習の準備室
倉庫	45.95	3か所

## 本館平面図



卒業生の皆さんには、  
お元気で御活躍のことと  
お喜び申し上げます。

平成七年度の第一牧場  
の陣容は、いずれも顔馴  
染みの伊藤、小坂、樋口、  
有富の四人で、牛や飼料  
畑の管理実習を学生と一緒に  
緒になつて行つております。

トウモロコシの収量は昨  
年ほどではありませんで  
した。

しかし、冷夏長雨や旱魃時のような苦労ではありますでした。

また、稻わらの購入関係を第一牧場で行いましたが、好天に恵まれ、倉吉からも品質の良い物を購入でき、場員一同喜んでおります。現在、牧場周辺は約三十cmほどの雪におおわれていますが、もうすぐ緑の牧草が生き生きと芽を吹く春がやつてきます。

今年の飼料作物は雪害によるイタリアンライグラスの減収以外は、おおむね順調で、乾草は質の良い物がたくさん収穫できましたが、梅雨時期の雨がやや長引いたため、



## 第1牧場 だより



4 牧区より見た新館

十二月の二度にわたる大寒波による例年にはない

りに新規採錦織技師  
が配属となりました。

降雪で第二牧場は大雪原

今年は、例年並の梅雨

育が遅れたようでしたが、  
その後好天気が続き、順調な発育でした。

の下痢に多少悩まされる  
ものの元気に育つていま

ス。牧場内の優良雌牛から採卵、性判別を行い移植した受卵牛からも無事

周年記念と蒜山へのジャ

ージー牛導入四十周年記

となっていますが、卒業生の皆様はお元気でしょ

うか。本年度、第二牧場では、内部異動により出

りが天候不順のため少し発

念および本館竣工のそれ

の式典が行われ、多くの卒業生の方々が訪れ

られました。

石技師が教務課に、有富助手が第一牧場に、かわ

トウモロコシは、初期

のトウモロコシが根こそ

今年は、酪大創立三十

台風が蒜山地域の真上を通過し、六番牧区のトウ

周年記念と蒜山へのジャ

モロコシ畑では、完熟前

ージー牛導入四十周年記

に雌仔牛が生まれました。

されました。

しかし、九月に超大型

台風が蒜山地域の真上を

一度是非、おいで下さ

い。いつでもお待ちして

き倒れるという大惨事と

あります。

なり、全員でトウモロコ

シ刈りに出動しました。

成牛舎の土手沿いには春

くの卒業生の方々が訪れ

に菜の花、秋に秋桜が咲

られました。

ころでしたが、いちび・

チヨウセンアサガオの発

育を抑制することに成功

し、昨年の大豊作の収穫

量よりは落ちるもの、

冬期間の飼料確保には十

分な量でした。

ジャージー牛の方はと

言いますと、順調に、後

いました。

り、九月には大型台風の

通過で二本も倒れてしま

